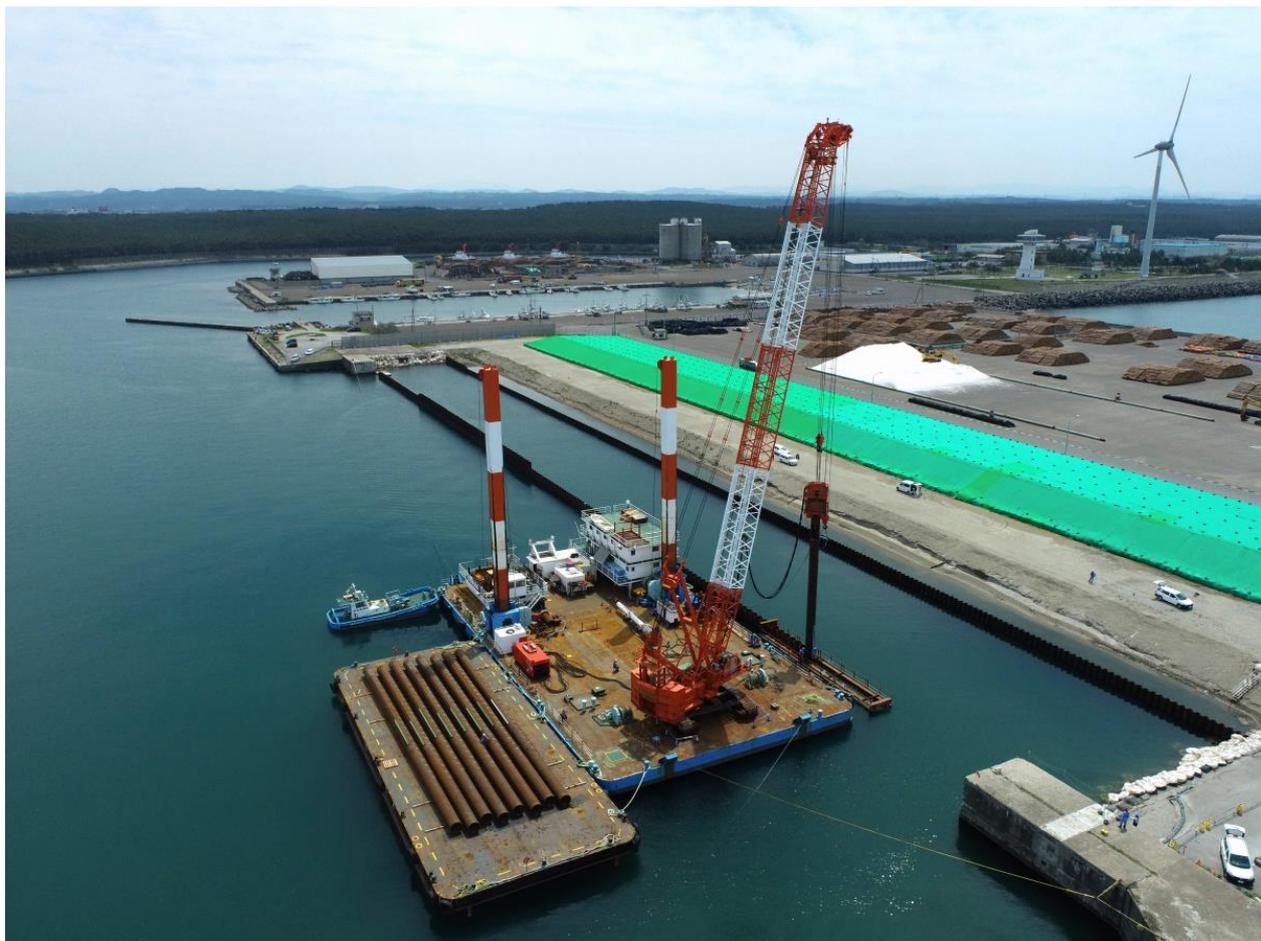


# 令和5年度 国・県に対する要望事項



令和4年6月

 能代市

当市の行政運営に対し、日ごろより格別のご配慮をいただき、厚くお礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症対策につきましては、地域への感染拡大防止にご尽力いただいていることに心から感謝申し上げます。

さて、昨年度の要望につきましては、県管理道路「竹生バイパス」および「荷上場バイパス」の早期完成に向け、ご尽力をいただくなど、地域経済の活性化にお力添えいただき誠にありがとうございます。

当市では、第2次能代市総合計画におけるまちづくりの基本理念に「幸福共創」を掲げ、優れた地域資源を十分に活用し、“こころ”、“からだ”、“もの”の3つの豊かさを実感できるよう、官民一体となって各種施策を推進しているところであります。とりわけ、人口減少・少子化・高齢化に歯止めがかからない現状にあっては、若者の定住につながる産業の振興と質の高い雇用の確保が、当市の最重要課題であり、重点的かつ横断的に取り組んでいく必要があります。

この要望事項は、能代港や高速道路等の社会基盤を最大限に活かし、当市が目指すエネルギーのまちづくり等と組み合わせ、新たな産業と雇用の創出につなげる上で大変重要な事項であり、これらの実現により能代が<sup>よ</sup>く<sup>か</sup>代わるものと確信しております。

何卒、当市の事情をご賢察いただき、令和5年度の予算編成及び今後の施策展開に取り入れてくださるようよろしくお願い申し上げます。

令和4年 6月

能代市長 齊藤 滋 宣

# 要 望 事 項 一 覧

1. 能代港を活用した地域振興について …… [ 継 続 ]
2. エネルギーを核としたまちづくりへの支援について …… [ 継 続 ]
3. CO<sub>2</sub>の回収・有効利用・貯留(CCUS)に係る実証事業について …… [ 継 続 ]
4. 日本海沿岸東北自動車道の早期完成について …… [ 継 続 ]

〔 継 続 〕

建設部 港湾空港課

産業労働部 エネルギー・資源振興課、産業集積課

## 能代港を活用した地域振興について

近年、洋上風力発電事業の加速化により、能代港を取り巻く状況は大きく変化しております。こうした動きに合わせ、国からは能代港地耐力強化に関する事業、県からは大森ふ頭用地造成事業を実施していただいております。

能代港は北陸から北海道にわたる日本海沿岸の洋上風力発電設備建設有望地の中心に位置しており、令和2年9月には、能代港が港湾法における海洋再生可能エネルギー発電設備等拠点港湾として指定されました。翌年12月には、再エネ海域利用法の促進区域である「能代市、三種町及び男鹿市沖」において事業者が選定されたほか、「八峰町及び能代市沖」では事業者選定に向けた準備が進められているところです。

また、日本海沿岸東北自動車道は令和5年度までの開通の見通しが示され、県北地域だけでなく、青森県、岩手県等からの物流の拡大が見込まれ、それに伴う経済活性化の可能性が高まっています。

今後、能代港に洋上風力発電設備建設のための港湾インフラやメンテナンス基地機能を集中的に整備することにより、国が目指す再生可能エネルギーの主力電源化に大きく貢献し、日本全体の電力の安定供給及びカーボンニュートラルポート形成による地域脱炭素社会の実現にも資するものと考えます。

こうしたインフラを活用することで、県北地域の魅力的な観光資源へのアクセスが便利になることから、クルーズ船誘致は交流人口拡大による地域の活性化に不可欠であるとの共通認識のもと、観光メニューづくりや誘致活動に地域が連携して取り組んでいるところです。

他方、能代火力発電所3号機の運転開始後、石炭運搬大型船の入港数が増加しており、これらに対応するため、船舶の航行安全、安全な荷役、安定した物流を確保するべく、港内静穏度の向上及び水域施設の水深確保は必要不可欠であります。

また、港湾内の船舶の航路と米代川の河口に挟まれた場所にある中島緑地公園（通称釣り公園）は、市民をはじめ県内外の方が釣りを楽しむ場となっております。

こうした中において、昨年度は大森地区小型船だまり計画への実施に向け準備が進むなど、同港が持つポテンシャルがさらに高まってきております。

今後も本地域が一丸となって、能代港を中心とした県北地域の発展に取り組んでまいりますので、下記事項について、ご指導とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

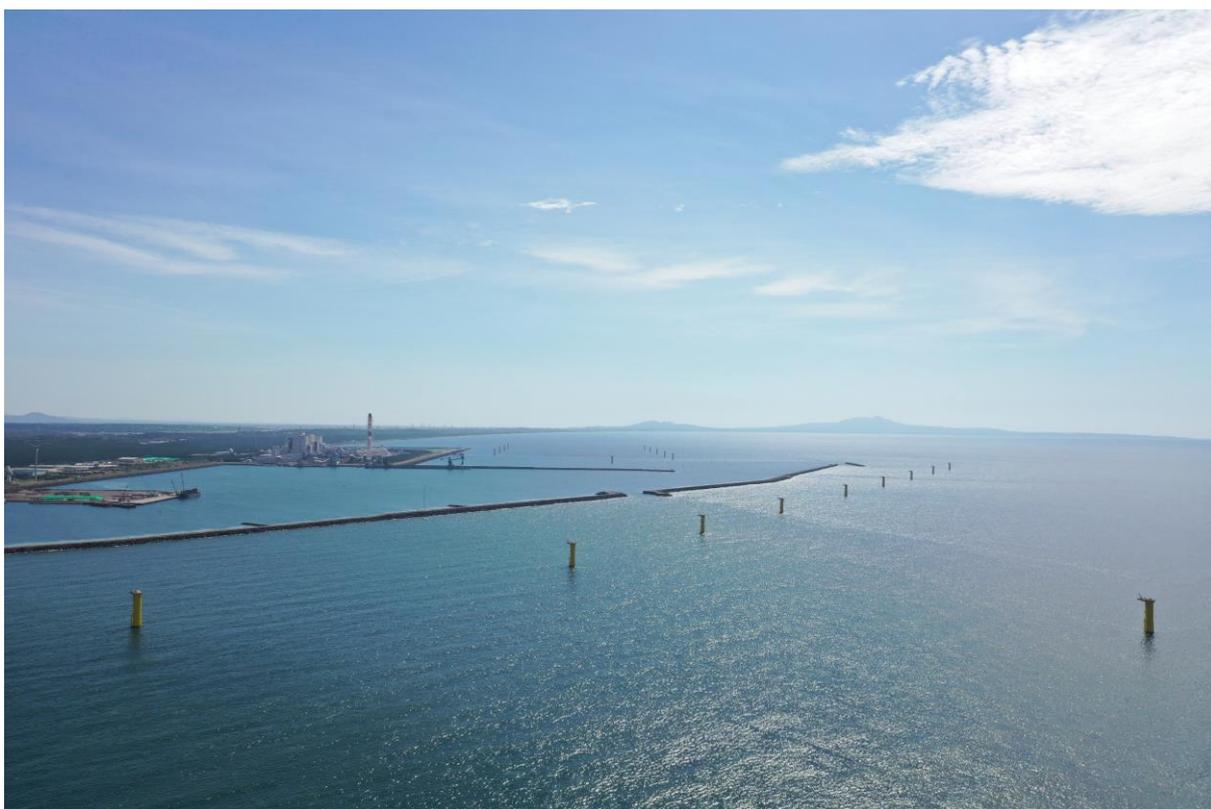
### 1. 港湾の機能強化と利便性向上

- ・防波堤整備による港内静穏度の向上
- ・岸壁の耐震化と強度の向上
- ・大森地区小型船だまり移設計画の早期完了と、移転後の埋立ての着手

### 2. 洋上風力発電の拠点化実現への支援

- ・能代港が洋上風力発電設備の建設及びメンテナンス拠点となるための港湾施設の早期完成

- 中長期的な視点に立った風力発電設備の大型化・プロジェクトの大規模化を見越した港湾機能の強化
  - 地元企業の洋上風力発電関連分野への参画及び関連産業の集積に向けた支援
3. クルーズ船誘致のための環境整備
    - 大型クルーズ船対応岸壁の整備
    - ウィズコロナ時代におけるクルーズ船来訪者の受入体制への支援
  4. カーボンニュートラルポート形成に向けた体制整備
    - 関係者によるカーボンニュートラルポート形成に向けた協議会の早期設置
    - 水素社会実現のため、水素の輸送・貯蔵・利用の拠点を構築することの計画への反映
  5. 中島緑地公園の再整備
    - 除草などの美化整備やトイレの設置等による利便性向上に向けた整備



写真提供:秋田洋上風力発電株式会社

〔 継 続 〕

産業労働部 エネルギー・資源振興課、産業集積課

## エネルギーを核としたまちづくりへの支援について

本市は、「エネルギーのまち」を目指し、風力発電を中心とした再生可能エネルギーの導入拡大に取り組んでおります。現在、大規模な風力発電や太陽光発電設備のほか、研修施設を併設した風力発電のメンテナンス拠点が設置されるなど、関連産業の集積も進んでおります。

こうした中、日本のフロントランナーを目指している洋上風力発電分野においては、秋田洋上風力発電株式会社が、能代港の港湾区域内において国内初の本格的な商用運転となる洋上風力発電の本年末の運転開始を目指し工事が進んでおります。

さらに、一般海域では促進区域に指定されている「能代市、三種町及び男鹿市沖」で事業者が選定され、同じく促進区域の「八峰町及び能代市沖」では事業者選定に向けた準備が進められており、本市周辺の洋上風力発電の動きは益々加速しております。

また、陸上風力発電では地域の農林業の振興と共生を図るため、令和2年3月に設置した「能代市農山村地域再生可能エネルギー共生協議会」では、風力発電による売電益の一部を、農業分野における再エネの活用やD Xなどの「未来志向の取組」に活用することを決めております。

現在、国が中心となり、水素の利用時のみならず製造時や貯蔵・輸送時なども含め、脱炭素化に向けての一貫した取組の実証を全国各地で行っており、本市ではJ A X A能代ロケット実験場での液体水素に関する最先端の実験が行われているほか、官民が参加する水素利活用の在り方検討会での意見交換や、高校生を対象にした「のしろ水素セミナー」を開催するなど、水素に関連した取組を継続的に実施しております。

こうした状況を踏まえ、能代市次世代エネルギービジョンに掲げた先進的なプロジェクトを実現し、本市ひいては秋田県全体の発展につなげていくため、下記事項について、ご指導とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

### 1. 次世代エネルギーの先進的なまちの実現

- ・風力、水素等の次世代エネルギーがもたらす恩恵を市民が直接享受できる電力の地産地消等の仕組みづくりへの支援
- ・本市周辺の洋上風力発電事業等のエネルギー産業に関わる人材育成への支援（地元高校への学科創設、高等教育機関や研究施設の誘致等）
- ・次世代エネルギーを活用したモビリティや地域防災等、各種の実証場所となり得る環境整備への支援

### 2. 地域をリードする産業の創出・活性化

- ・洋上風力発電関連企業とのマッチング促進や能代港周辺地域における事業用地の整備等の関連産業の集積に向けた支援
- ・再生可能エネルギーを農業等に活用した地域振興の取組への支援
- ・地域の風力発電等の電力を活用した、エネルギーコストの低減やCO<sub>2</sub>低減に配慮した企業誘致につながる環境整備への支援
- ・地元企業の水素活用を含めた次世代エネルギー関連分野の参画への支援

【市担当部課 環境産業部 エネルギー産業政策課】

〔 継 続 〕

産業労働部 エネルギー・資源振興課、産業集積課

## CO<sub>2</sub>の回収・有効利用・貯留(CCUS)に係る実証事業について

令和2年10月に、菅総理より「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことが宣言され、その実現に向け、国では、「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」を策定しました。

温室効果ガス削減対策の推進に向け、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を回収して海底などの地下に貯留し、利用する技術「CCUS」は有効な手段のひとつとされており、平成28年度より能代市と三種町にまたがる区域でCO<sub>2</sub>貯留適地調査が実施されております。

同区域は、これまでに蓄積された石油・天然ガスの探鉱・開発データ・実績に鑑みれば、陸域から掘削する坑井による大規模なCO<sub>2</sub>貯留適地となる可能性が高いほか、風力発電によるCO<sub>2</sub>フリー水素を活用したメタネーション等のカーボンリサイクルに係る実証事業の場としても条件が整っております。

また、能代市には、船舶により輸送されるCO<sub>2</sub>を受入可能な港湾があり、港湾周辺にはカーボンリサイクル産業の集積可能な用地が存在しております。

2050年カーボンニュートラルを目指すためには、CCUSが重要な役割を果たすと考えられ、能代市と三種町にまたがる区域は、大規模貯留における先導的役割を果たし得る条件を備えております。

一方で、CCUSは技術実証まで進んでいるものの、国の支援がなければ事業化することが難しいものでありますので、能代・三種沖での大規模貯留を可能とするため、下記事項について、ご指導とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

- ・ 本地域における調査井の早期掘削や実証試験の実施
- ・ 今後期待されるCO<sub>2</sub>の大規模排出源から能代港への海上輸送実現のため、大型液化CO<sub>2</sub>輸送船の建造や受入貯蔵タンクの大型化、液化CO<sub>2</sub>パイプライン輸送等に係る技術開発支援
- ・ 本地域での貯留したCO<sub>2</sub>のカーボンリサイクルに係る実証事業誘致への支援

【市担当部課 環境産業部 エネルギー産業政策課】

## 日本海沿岸東北自動車道の早期完成について

日本海沿岸東北自動車道二ツ井白神 I Cから大館能代空港 I C間の整備については、早期に高速交通ネットワーク形成が図られるよう、平成24年度より事業着手された「二ツ井今泉道路」の整備促進を図り、早期の全線開通に向けて引き続き要望します。

また、洋上風力発電拠点化の整備が進められている能代港の利活用促進と県北地域の経済の更なる発展に向け、27年度より着手された能代地区線形改良、令和2年度より事業化となった種梅入口交差点の立体化、3年度より事業化となった荷上場地区交差点改良について進捗を図り、道路の速達性や定時性、安全性の確保を可能とする整備を要望します。

